

令和 7 年 度

事業報告書

公益財団法人 京都文化財団

目 次

令和7年度事業報告書

○ 処務の概要	
1. 評議員及び役員に関する事項	1
2. 組織に関する事項	
○ 事業の状況	
I. 財団本部事務局	3
1. 本部事務局	
2. 文化財保護基金の事業	
II. 京都府京都文化博物館	5
1. 管理運營業務	
2. 事業実施状況	
III. 京都府立文化芸術会館・京都府立府民ホール	18
1. 管理運營業務	
2. 事業実施状況	
3. 美術工芸振興基金事業	
IV. 京都府立堂本印象美術館	27
1. 管理運營業務	
2. 事業実施状況	

処 務 の 概 要

1 評議員及び役員に関する事項

評 議 員 及 び 役 員 名 簿

令和8年3月31日現在

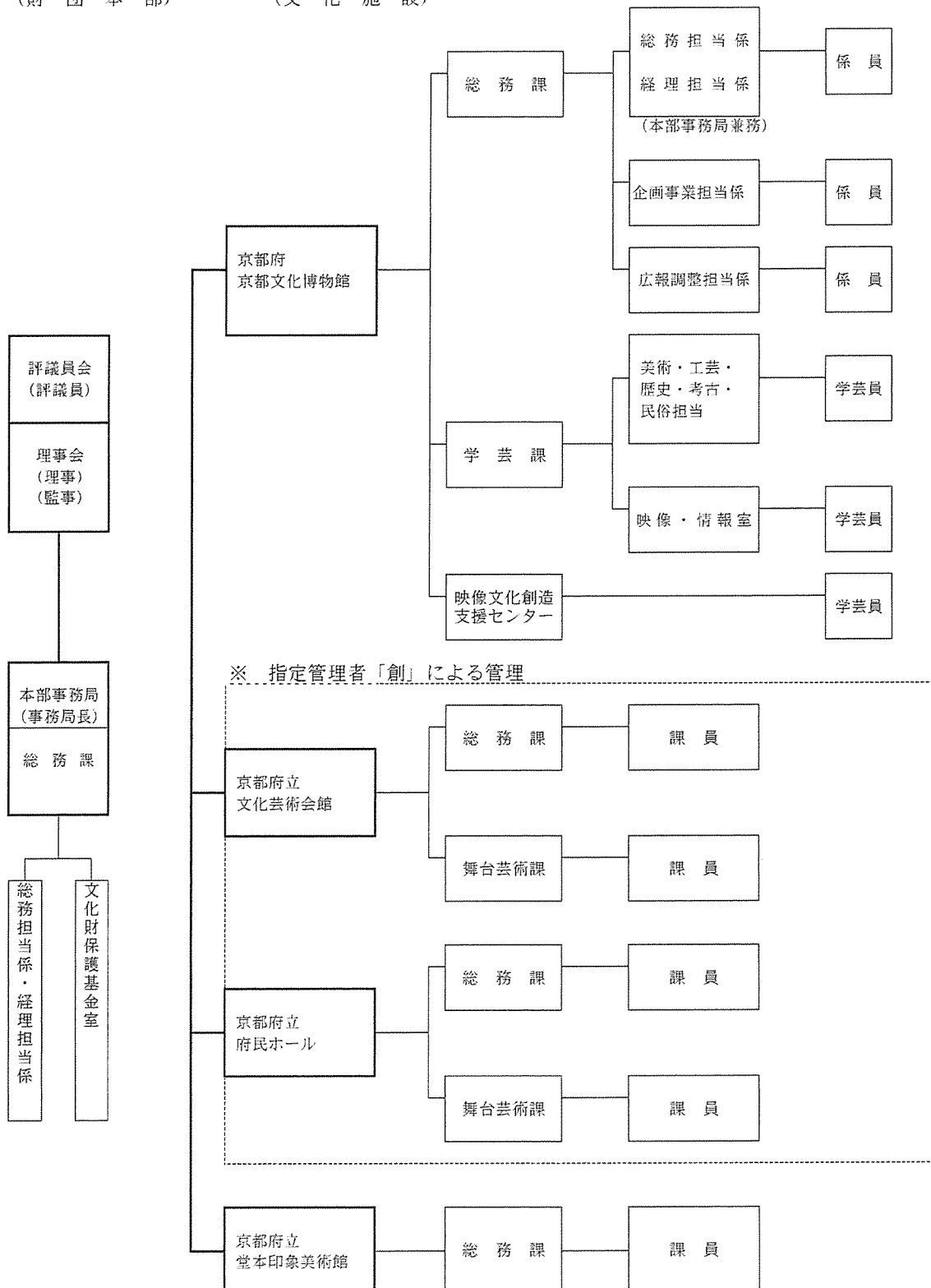
職 名		氏 名	摘 要	最初の就任年月日
顧 問		西 脇 隆 俊	京都府知事	平 30. 6. 5
評 議 員		池 坊 雅 史	華道家元池坊総務所事務総長	令 元. 6. 27
"		上 原 雅 明	学校法人小野幼稚園理事長・園長	令 元. 6. 27
"		内 田 奈 織	ハーブ奏者	令 5. 6. 20
"		大 西 祐 資	京都新聞社代表取締役社長・主筆	令 4. 11. 23
"		杭 迫 柏 樹	書家	平 27. 6. 23
"		金 剛 永 謹	能楽金剛流宗家	平 23. 5. 17
"		坂 口 博 翁	僧侶、一般財団法人京都仏教会常務理事	令 5. 1. 31
"		佐々木 正 子	嵯峨美術大学名誉教授	令 元. 6. 27
"		佐 野 真 由 子	京都大学大学院教育学研究科教授	令 5. 6. 20
"		潮 江 宏 三	美術評論家、京都市立芸術大学名誉教授	令 元. 6. 27
"		田 中 恆 清	石清水八幡宮宮司	平 23. 5. 17
"		中 西 た え 子	株式会社鼓月取締役会長	令 5. 6. 20
"		中 村 宗 哲	千家十職塗師当代	令 5. 6. 20
"		名 和 修	公益財団法人陽明文庫常務理事・文庫長	平 23. 5. 17
"		野 崎 貴 典	古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー	令 5. 6. 20
"		古 川 博 規	京都府副知事	令 2. 10. 26
"		森 田 り え 子	日本画家、京都市立芸術大学客員教授	令 5. 6. 20
"		山 極 壽 一	総合地球環境学研究所所長	令 3. 3. 31
"		吉 岡 恵 美 子	京都精華大学芸術学部教授	令 5. 6. 20
"		冷 泉 為 人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長	平 23. 5. 17
役 員	理 事 長 (代表理事)	山 田 啓 二	京都文化博物館館長、前京都府知事	平 30. 6. 20
	常 務 理 事 (業務執行理事)	金 谷 宗 子	京都文化博物館副館長、京都文化財団事務局長	令 4. 5. 24
	理 事	植 村 幸 弘	京都中央信用金庫理事長	令 4. 6. 28
	"	奥 野 美 奈 子	株式会社京都銀行常務取締役	令 3. 11. 12
	"	金 田 章 裕	京都府立京都学・歴彩館長、京都府公立大学法人理事長	平 26. 6. 27
	"	高 階 絵 里 加	京都大学大学院地球環境学堂教授 京都大学人文科学研究所教授	平 23. 3. 22
	"	並 木 誠 士	京都工芸繊維大学特定教授	平 24. 6. 26
	"	深 尾 憲 一	弁護士	平 23. 3. 22
	"	吉 田 忠 嗣	吉忠株式会社代表取締役社長	平 23. 3. 22
監 事		光 田 周 史	公認会計士、ひかり監査法人代表社員	平 23. 3. 22
"		中 村 健 児	一般社団法人京都銀行協会専務理事	平 29. 3. 23
(現 在 数)				
顧 問 1名 評議員 20名 理 事 9名 監 事 2名				

2 組織に関する事項

令和8年3月31日現在

(財 団 本 部)

(文 化 施 設)



I 財団本部事務局

1 本部事務局

公益性が高く、かつガバナンスを強化した法人組織を確立するとともに、公益財団法人としての事業に取り組んだ。

財団本部では文化博物館を含む4つの文化施設の事業活動が、それぞれ設立趣旨に則して円滑に推進できるように努めるとともに、文化財保護基金による資金の貸付け及び文化財の保存と啓発に関する事業等の推進に努めた。

また、今年度は、一般からの寄附を集めるためのパンフレット作成し、財団の財政基盤の強化を図った。（令和7年度実績：2,420千円）

2 文化財保護基金の事業＜公益目的事業＞

（1）文化財保護資金の貸付け

新規貸付1件、貸付額10,000千円であった。（令和8年1月16日付貸付決定）

▼善福寺（京都府舞鶴市） 本堂改修及び本尊（阿弥陀如来座像）修理 10,000千円

① 貸付金の償還状況

（単位：千円）

貸付 年度	貸付 件数	貸付額	令和7年度償還額			償還済額 (元金)	未償還額 (元金)
			件数	元 金	利 子	計	
②⑦	3	28,000	1	1,631	20	1,651	26,369
②⑧	4	41,000	4	4,741	92	4,833	33,346
②⑨	2	21,000	1	682	25	707	18,928
③⑩	2	22,000	1	1,686	82	1,768	15,134
①	0	0	0	0	0	0	0
②	3	14,000	2	1,727	52	1,779	7,636
③	2	20,000	1	552	24	576	16,632
④	0	0	0	0	0	0	0
⑤	2	23,000	2	2,883	207	3,090	0
⑥	0	0	0	0	0	0	0
⑦	1	10,000	0	0	0	0	10,000
累計	19	179,000	12	13,902	502	14,404	118,045

（2）文化財保護の啓発普及

① 啓発普及誌「文化財レポート」の発行

文化財の重要性を認識し、保護意識の高揚を図るための普及誌として「文化財レポート第39号」を発行（1,500部、令和8年3月）し、文化財保護の啓発に努めた。

② 文化財保護のよろず相談

指定・未指定を問わず文化財を所有されている京都府内の方を対象とした文化財保護のよろず相談窓口を文化博物館ホームページ上に引き続き開設した。

③（公財）古文化保存協会主催「小中学生記者の文化財取材コンクール」への協力（後援）

「空飛ぶ仏さま 因幡薬師の伝説!!」をテーマに、平等寺因幡堂を会場として開催した文化財取材コンクールに後援として協力した。11月28日に平等寺因幡堂で開催した授賞式では、当財団からも3名に賞を授与した。

取材コンクール：令和7年8月6日 参加者43名、応募作品65点

(3) 文化財保護関係の関係機関及び諸団体との連携の強化

文化財保護関係機関で構成する京都文化財防災対策連絡会との連携により、事業の推進や啓発活動の強化に努めた。(年3回開催)

(4) 福寿園・お茶の文化賞事業

① 第4回福寿園・お茶の文化賞の授与

お茶の文化賞選考委員会(令和7年1月27日)による選考を経て、第4回お茶の文化賞を授与した。

授賞式 : 令和7年5月11日

大賞受賞者 : 久保 左文 (竹茗堂 左文 24 代目堂主)

歴史ある伝統工芸・高山茶釜の技術の保存継承に尽力し、お茶の文化にはかせない茶釜の品質向上と普及に大いに貢献しているため。

奨励賞受賞者 : 相楽東部広域連合立 和束中学校

中学校の総合学習のひとつとして茶道教育に努め地域で育まれたお茶の文化の次世代への継承に取り組んでいるため。

② 第5回お茶の文化賞選考委員会

令和8年2月24日に第5回受賞者を選定する選考委員会を開催し、大賞・尼崎博正氏、奨励賞・諏訪蘇山氏をそれぞれ選考した。

Ⅱ 京都府京都文化博物館

1 管理運営業務

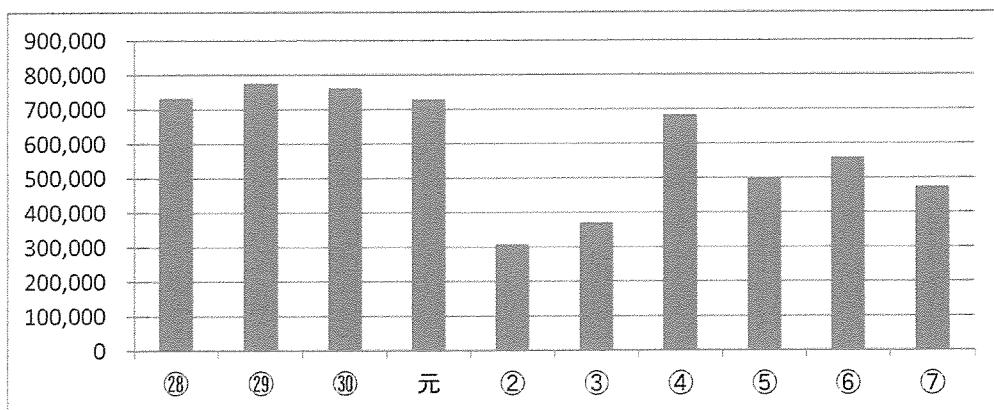
令和7年12月から翌3月まで約4ヶ月間、2～4階展示室照明のLED化工事を実施した。展示室ごとに休室期間を設けながら順次工事したため、特別展開催数が減り入館者数は約15%減少した。一方で、文化庁京都移転に伴い京都で初となる国宝等新指定展の開催や、令和7年3月にリニューアルした歴史展示エリア、アイヌ工芸品展など総合展示は健闘した（入館者数25%増）。貸展示室は、定期的な利用者の高齢化等による利用率低下や利用規模の縮小傾向が続いている。収支は、縄文展や鬼滅の刃展が好調であったこと、公益充実資金の取り崩し等により、全体として黒字となった。

（1）令和7年度利用者数状況

区 分	展覧会入館者 ＜公益目的事業＞	貸展示室等 利用者 ＜公益/収益含む＞	ろうじ店舗等 利用者 ＜収益事業＞	総 計
来館者数	243,536	140,753	88,352	472,641

（参考）過去10年間の入館者数実績

年 度	展覧会入館者	貸展示室等 利用者	ろうじ店舗等 利用者	総 計
㊳	283,487	291,152	157,688	732,327
㊴	286,370	331,017	158,182	775,569
㊵	270,205	343,129	147,873	761,207
元	310,813	274,299	143,215	728,327
㊶	129,425	113,333	64,665	307,423
㊷	120,554	185,285	64,195	370,034
㊸	416,867	179,998	84,853	681,718
㊹	211,952	206,787	79,559	498,298
㊺	282,332	185,491	90,071	557,894
㊻	243,536	140,753	88,352	472,641



展示室（2～4階）照明LED化改修工事：令和7年10月15日～令和8年3月31日まで

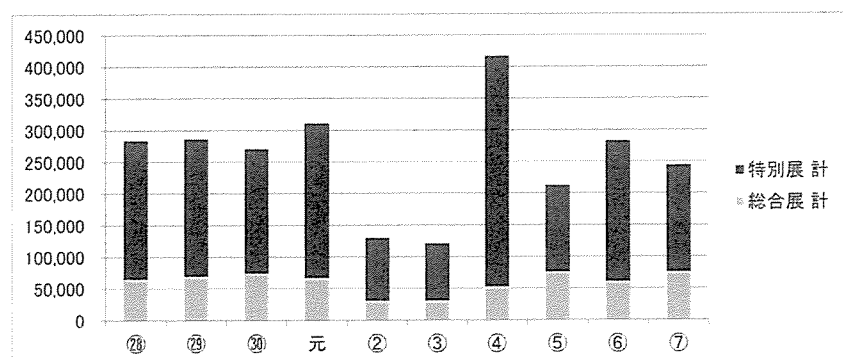
(2) 入館者数<公益目的事業>

(単位：人)

	総合展			特別展			合計		
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	合計
令7年4月	3,511	2,021	5,532	6,999	3,309	10,308	10,510	5,330	15,840
令7年5月	4,196	2,616	6,812	9,137	2,538	11,675	13,333	5,154	18,487
令7年6月	3,654	1,854	5,508	10,733	2,706	13,439	14,387	4,560	18,947
令7年7月	4,594	1,727	6,321	14,167	2,883	17,050	18,761	4,610	23,371
令7年8月	3,492	2,649	6,141	25,125	3,765	28,890	28,617	6,414	35,031
令7年9月	4,126	4,384	8,510	2,839	738	3,577	6,965	5,122	12,087
令7年10月	2,912	2,708	5,620	23,447	3,839	27,286	26,359	6,547	32,906
令7年11月	1,742	3,037	4,779	30,912	5,985	36,897	32,654	9,022	41,676
令7年12月	366	2,113	2,479	0	0	0	366	2,113	2,479
令8年1月	2,741	2,905	5,646	2,487	16,119	18,606	5,228	19,024	24,252
令8年2月	5,930	2,793	8,723	0	0	0	5,930	2,793	8,723
令8年3月	7,166	2,571	9,737	0	0	0	7,166	2,571	9,737
計	44,430	31,378	75,808	125,846	41,882	167,728	170,276	73,260	243,536

(参考) 過去10年間の入館者数実績

	総合展			特別展			合計		
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	合計
㊸	29,078	35,962	65,040	122,616	95,831	218,447	151,694	131,793	283,487
㊹	33,798	35,422	69,220	114,518	102,632	217,150	148,316	138,054	286,370
㊺	33,897	40,316	74,213	90,655	105,337	195,992	124,552	145,653	270,205
元	30,283	36,497	66,780	144,109	99,924	244,033	174,392	136,421	310,813
②	12,051	18,513	30,564	66,057	32,804	98,861	78,108	51,317	129,425
③	11,747	18,698	30,445	71,402	18,707	90,109	83,149	37,405	120,554
④	23,360	29,348	52,708	328,383	35,776	364,159	351,743	65,124	416,867
⑤	43,861	31,550	75,411	75,976	60,565	136,541	119,837	92,115	211,952
⑥	33,400	27,052	60,452	142,640	79,240	221,880	176,040	106,292	282,332
⑦	44,430	31,378	75,808	125,846	41,882	167,728	170,276	73,260	243,536



(3)-1 特別展の状況<公益目的事業>

(単位:人)

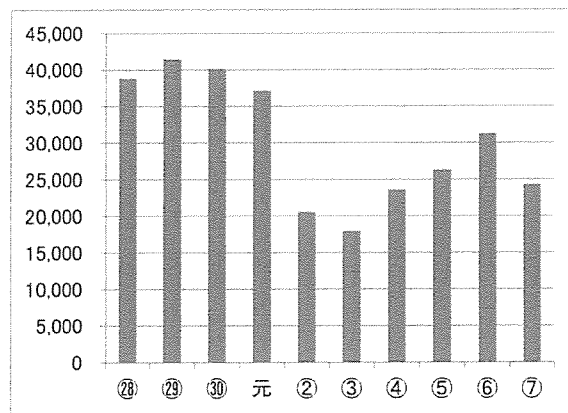
展 覧 会 名	共催者等	開催期間(日数)	入館者数	1日平均
カナレットとヴェネツィアの輝き	京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、MBSテレビ、スコットランド国立美術館	2月15日～4月13日 (12/48日間【4/1～4/13】)	【4月1日～13日迄】 7,868人	【4月1日～13日迄】 655人
和食 ～日本の自然、人々の知恵～	京都府、京都文化博物館、朝日新聞社、MBSテレビ	4月26日～7月6日 (63日間)	32,290人	512人
アニメ「鬼滅の刃」全集中展 刀鍛冶の里編・柱稽古編	京都府、京都文化博物館、京都新聞社、関西テレビ	7月18日～8月17日 (27日間)	36,926人	1367人
青の祓魔師(エクソシスト)展	京都府、京都文化博物館、MBSテレビ	8月19日～9月15日 (25日間)	7,855人	314人
世界遺産 縄文	京都府、京都文化博物館、MBSテレビ、朝日新聞社	10月4日～11月30日 (50日間)	64,183人	1283人
Kyoto Art for Tomorrow 2026ー京都府新鋭選抜展ー	京都府、京都文化博物館	2026年1月10日～1月25日 (15日間)	18,606人	1240人
合計(5回)		開催日数(192日間)	167,728人	873人

(3)-2 企画展の状況<公益目的事業>

絵巻～華麗なる物語の世界～	京都府、京都文化博物館	7月25日～8月10日 (15日間)	1,612人	
創立80周年記念京都工芸美術作家協会展 煌-KOGEI・つながる未来-	京都府、京都文化博物館、京都工芸美術作家協会	8月30日～9月15日 (15日間)	3,844人	
アイヌの美ー彩りと輝きー	アイヌ民族文化財団、京都府、京都文化博物館	2026年1月31日～3月19日 (41日間)	16,543人	
合計(3回)		開催日数(71日間)	21,999人	

(4) フィルムシアターの利用状況<公益目的事業>

	利用者数
令和7年 4月	1,718
" 5	2,188
" 6	2,350
" 7	1,750
" 8	1,974
" 9	2,333
" 10	2,234
" 11	2,247
" 12	2,014
令和8年 1月	1,736
" 2	2,086
" 3	1,645
計	24,275
月平均利用者数	2,022



(参考) 過去10年間の利用者実績

⑳	38,779
㉑	41,406
㉒	40,058
元	37,069
②	20,506
③	17,901
④	23,553
⑤	26,276
⑥	31,217
⑦	24,275

(5) 展示室（貸室）の利用状況<公益・収益>

展示室	種 別	利用日数	利用率	入場者数
5 階展示室	一般 (収益)	85日	59%	17,490 人
	作家 (公益)	105日		21,519 人
6 階展示室	一般 (収益)	100日	36%	11,450 人
	作家 (公益)	8日		860 人
合計		—	—	51,319 人

前年度入場者数
24,208 人
24,084 人
12,571 人
4,681 人
65,544 人

展示室	種 別	利用日数	利用率	入場者数
別館ホール	貸ホール (収益)	184日	68%	61,646 人
	主催	11日	—	27,788 人
合計		195日	—	89,434 人

前年度入場者数
96,080 人
23,867 人
119,947 人

(6) ろうじ店舗等利用状況<収益事業>

区 分	利用人数	月平均	前年度 利用者数
物販・飲食店（10店舗）	88,352 人	7,363	90,071 人

2 事業実施状況

<公益目的事業>

(1) 総合展示事業（2階）

① 「京の歴史」エリア

京都府所蔵(京都文化博物館管理)の文化資料を活用しつつ、近年の新しい知見と最新技術（プロジェクションマッピングや高精細デジタル画像）を駆使して、京都の歴史を紹介した。京都府と博物館の所蔵資料で展示を構成することで写真撮影が可能となっている。

② 「京の至宝と文化」

開催期間	展覧会名
令和7年4月19日～5月11日	令和7年 新指定 国宝・重要文化財
5月17日～7月13日	ガラスの丹後王国の世界
5月17日～7月21日	祇園祭ー山鉾巡行の歴史と文化
7月19日～9月21日	池大雅 大雅からのたより
7月26日～9月21日	今井憲一 幻想とリアルのあわい
9月27日～11月24日	未来へのおくりもの 京都府×京都市指定文化財
令和8年2月14日～4月12日	近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝15 春をことほぐ
2月14日～4月15日	雛人形名品展

(2) 総合展示事業（3階・映像）

火曜日～日曜日 午後1時30分～、午後6時30分～（土、日、祝は午後1時30分～、午後5時～）

開催期間	タイトル・特集名
令和7年3月20日～4月29日	【京の歴史展示エリアー新記念】「日本のハリウッド・京都」撮影所特集
5月1日～6月1日	【「和食～日本の自然、人々の知恵～」展開催記念特集】食べてる映画ー映画での食の役割
6月3日～6月29日	映画に見る京女
7月1日～7月17日、24日	映画『祇園祭』上映と京の匠の記録映画特集
7月18日～9月4日	妖／あやかし映画百鬼夜行
8月9日～8月11日	第31回京都国際子ども映画祭
8月22日	【「青の祓魔師」展開催記念】劇場版『青の祓魔師』上映会
9月5日～9月7日	日本映像学会関西支部第45回夏期映画ゼミナール こども映画特集
9月9日～9月28日	EU フィルムデーズ2025
9月30日～11月12日	【生誕100年記念】作曲家・芥川也寸志の映画音楽世界
10月18日、11月8日	「世界遺産 縄文」展関連映画上映
11月9日	IAD／国際アニメーションデー2025 in 京都
11月13日～11月16日	京都ぴあフィルムフェスティバル2025
11月19日～12月27日	【没後25年記念特集】新劇の巨人・滝沢修の仕事
12月2日～12月7日	第17回京都ヒストリカ国際映画祭
12月12日～12月14日	京まちなか映画祭2025
12月21日	京都映画賞授賞式と受賞作品上映
令和8年1月4日～2月19日	映画が見つめるいろいろな家族のかたち

2月13日	MPTE AWARDS2025 「第78回映像技術賞受賞作品を見る会&トークイベント」
2月20日～2月23日	第28回京都国際学生映画祭
2月25日～3月8日	アンソロジー・フィルムアーカイブスーアメリカ実験映画の地平へ
3月6日～3月31日	よく学び、よく遊べー映画の中の学生たち

総合展示（映像）関連事業（外部共催上映等）

開催日	タイトル	講演者等
令和7年 8月9日～11日	第31回京都国際子ども映画祭 共催：キンダーフィルムフェストきょうと	世界各国で製作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『ホタル』『ヤングハーツ』『周りが見えない女の子』『金魚になったロジャー』『こまねこのかいがいりょこう』『くも』等13作品を上映。 鑑賞者数：437人（146人／1日）
9月5日～7日	第45回日本映像学会関西支部夏期映画ゼミナール こども映画特集 共催：日本映像学会関西支部	『煙突屋ペロー』『笛吹童子 第一部どくろの旗』『笛吹童子 第二部妖術の闘争』『笛吹童子 第三部満月城の凱歌』『風の中の子供』『白蛇伝』『泥の河』『ノンちゃん雲に乗る』の上映とトーク。 鑑賞者数：298人（133人／1日）
9月9日～28日	EU フィルムデーズ 2025 共催：欧州連合代表部、欧州連合加盟国大使館・文化機関	EU 代表部が加盟各国から集めた映画作品『大地の香り』『サムウェア』『蝶』『セイレーンの声』『ブドウ』『カウボーイ・ケヴィン』『ABIFF』『オウムの彼女』『グッド・インテンション』『氷商人』『ハロー・サマー』『竜巻』『ルーツ』『アクメッド王子の冒険』『心の法』『ビッグ・マン』『フリー』『農民』等44作品の上映。 鑑賞者数：1,785人（99人／1日）
11月9日	IAD／国際アニメーションデー2025 in 京都 共催：国際アニメーションフィルム協会日本支部（ASIFA-JAPAN）	『ニャッキ！』『ハーバーテイル』『ブルーアイズ イン ハーバーテイル』『ドロンコロン』の上映と伊藤有亮のトーク。 鑑賞者数：106人（106人／1日）
11月13日～16日	京都ぴあフィルムフェスティバル 2025 共催：一般社団法人 PFF（ぴあフィルムフェスティバル）	『MOMENT』『惑星イノウエ』『マイ スモール ワールド』『ノイズの住人』『空回りする直美』『ワンダリング・メモリア』『紅の空』『BRAND NEW LOVE』『僕はガタロウ』『Caravan』『黄色いシミ』『傷ついた天使』『カクレミノ』『CROSS-TALK』等23作品の上映と受賞監督のトーク。 鑑賞者数：458人（115人／1日）
12月2日～17日	第17回京都ヒストリカ国際映画祭 主催：京都ヒストリカ国際映画祭映画祭実行委員会（京都府、京都文化博物館、東	『夜の鼓』『UBU』『はなれ瞽女おりん』『それから』『御法度』『マゼラン』『尾かしら付き』『神の道化師、フランチェスコ』『神

	映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学) 共催：KYOTO CMEX 実行委員会	の子羊』『雄呂血』『引かれ者の小唄』『裏か表か』『宇宙からのメッセージ』等 16 作品の上映と樋口真嗣、安田淳一、田村幸士、アンドレア・メネゲッリ等のトーク。 鑑賞者数：874 人（146 人／1 日）
12 月 2 日～4 日	第 18 回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2025) 主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 [京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学ほか] 共催：第 35 回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTOCMEX 実行委員会 協力：京都クロスメディア推進戦略拠点	世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で 5 分の短編時代劇 2 作品を製作する合宿形式のワークショップ（公用語：英語）。web 公募の結果、ラボとマスターズセッション含め 346 名（アメリカ、バングラデシュ、バルバドス、ブラジル、イギリス、ブルガリア、カンボジア、カナダ、中国、クロアチア、エジプト、フランス、ジョージア、香港、インド、インドネシア、イラン、イスラエル、イタリア、カザフスタン、韓国、リトアニア、マケドニア、マレーシア、メキシコ、モロッコ、モザンビーク、ネパール、パキスタン、ペルー、フィリピン、スペイン、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、セントルシア、スウェーデン、台湾、タンザニア、タイ、トルコ、ウクライナ、ベトナム日本）の応募から時代劇製作には 20 名が参加となった。東映、松竹の京都撮影所で安藤清人（東映）、岩本英夫（松竹）監修の時代劇製作ワークショップを開催。 参加者数：20 人
12 月 5 日～7 日	京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション 主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 [京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学ほか] 共催：第 35 回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTOCMEX 実行委員会 協力：京都クロスメディア推進戦略拠点	第 18 回京都フィルムメーカーズラボ参加者（20 名）+マスターズセッション参加者（17 名）、東映剣会による殺陣講座、サヴィーナ・ネイロッチィ、ヴァレンティーナ・ベッローモによるピエンナーレ・カレッジ・シネマ講座、片渕須直による「清少納言と中宮定子はほんとうに親友同士だったのか」、和田亮一による「AI 時代のストーリーテリング」、『宇宙からのメッセージ』の上映と樋口真嗣によるトーク等 11 講座を開催。 鑑賞者数：718 人（239 人／1 日）
12 月 12 日～14 日	京まちなか映画祭 2025 共催：京まちなか映画祭実行委員会	『狂った果実』『ギターを持った渡り鳥』『学園広場』『二人日和』『君は恋人』『moonlight club in LOVE』の上映とトーク。 鑑賞者数：192 人（64 人／1 日）
12 月 21 日	京都映画賞授賞式と受賞作品上映 共催：京都市	京都映画賞受賞作『室町無頼』の上映と京都映画賞受賞者の表彰式。 鑑賞者数：106 人（106 人／1 日）
令和 8 年	第 28 回京都国際学生映画祭	『Ru Guo Dang Shi』『米米的猜想』『Au Calme

2月20日～23日	共催：公益財団法人大学コンソーシアム 京都	Des Cigales』『お笑えない芸人』『クナマノブ』『Fuck the Cistem』『Welcome Home Freckles』『Paradox』『ごはん』『時空裂縫』『白巻』『보다 보다』『모범상』『大きな家』『あみこ』等20作品の上映と入選監督と審査員のトーク。 鑑賞者数：513人（128人／1日）
2月13日	MPTE AWARDS2025 「第78回映像技術賞受賞作品を見る会&トークイベント」 共催：日本映画テレビ技術協会	『あんのこと』『newsランナー 阪神淡路大震災 長谷川家の30年』『日曜劇場 御上先生』の上映と受賞監督のトーク。 鑑賞者数：217人（217人／1日）
2月25日～3月8日	アンソロジー・フィルムアーカイブス—アメリカ実験映画の地平へ 共催：国立映画アーカイブ、国立映画アーカイブ、アンソロジー・フィルムアーカイブス	『グリーサーズ・バレス』『リグルーピング』『ボーン・イン・フレイムズ』『呼吸』『デュオ・コンチェルト』『花泥棒』『シルバー・プレイ』『ゆるやかな死』『TRI』『リピート』『詩篇23枝篇』等20作品の上映と中西香南子、佐野亨のトーク。 鑑賞者数：593人（54人／1日）

（3）特別展示関連事業（学習普及活動）

①『和食～日本の自然、人々の知恵～』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
講演会	令和7年 4月26日	「京都の食文化」	本展監修者、ふじのくに地球環境史ミュージアム館長 佐藤洋一郎	138人
対談		「和食のこれから」	佐藤洋一郎 料亭「菊乃井」三代目主人 村田吉弘	
トーク	5月31日	「錦市場 ほんまもの魅力」	鮮魚「丸弥太」 西川朋宏 京漬物「梔梧」 宇津康之 京ゆば「湯波吉」 越智宜子	121人
研究発表	6月7日	復活！SHOGUN 御膳～足利将軍が食べた料理復元に挑んだ学生たちの記録～	京都調理師専門学校講師 伴田祐耶 京都府立大学教授 小林啓治 京都府立大学大学院食の文化学位プログラム 小川航典 京都府立大学文学部和食文化学科 東祥太郎	118人
ミュージアムズフォー連携講座	6月14日	「和食以前～祭礼の供物にみる食文化の変遷～」	当館学芸員 橋本 章	105人
ギャラリートーク	5月16日、6月20日（計2回）		当館学芸員 橋本 章	42人 31人

②『アニメ「鬼滅の刃」全集中展 -刀鍛冶の里編・柱稽古編-』

※関連事業なし

③『青の祓魔師^{モクソニスト}展』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
上映会	8月22日	『青の祓魔師 劇場版』	—	72人
サイン会	8月30日	加藤和恵先生サイン会	—	136人

④『世界遺産 縄文』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
講演会	10月4日	「どっグ〜な、土偶の見どころお伝えします」	文筆家で土偶女子 譽田亜紀子	138人
ワークショップ	10月4日	「折り紙で『土偶ちゃん』を折ろう！」	文筆家で土偶女子 譽田亜紀子	26人
上映会	10月18日	『掘る女 縄文人の落とし物』	—	108人
講演会	11月1日	「世界遺産 縄文を考えるーその光と影ー」	同志社大学教授 水ノ江和同	99人
上映会	11月8日	『縄文にハマる人々』	—	112人
ギャラリートーク	10月16日、10月30日、11月20日（計3回）		当館学芸員 山崎頼人	125人 77人 106人

⑤『Kyoto Art for Tomorrow 2026 -京都府新鋭選抜展-』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
イベント	令和8年 1月10日	「特別展示作家によるアーティ スト・トーク」	特別展示作家 小宮太郎	49人
ギャラリートーク	1月11日、1月24日（計2回）		出品作家	60人 63人

（4）京都府立京都学・歴彩館展示

京都府所蔵染織文化財から、婚礼衣装や関連資料を紹介する「京都府コレクションにみる婚礼衣装の美」の展示会を開催した（入場者数3,240名。）

開催日	展覧会名
令和8年1月17日～3月1日（49日間）	「京都府コレクションにみる婚礼衣装の美」
ギャラリートーク（3回）1月22日（24名）、1月29日（25名）、2月19日（17名） 当館学芸員 林智子	

(5) 京都文化プロジェクト事業（公益充実資金）

今年度が計画最終年となる「京都文化プロジェクト事業資金」を取り崩し（2025 万円）以下の事業に取り組んだ。

- ① 京都文化次世代データセンター（仮称）のための機材整備。
- ② 文化庁 Innovate MUSEUM 事業「京都文化次世代データセンター（仮称）プロジェクト」にかかる自己負担（詳細は 15 ページ（9） - ③を参照）
- ③ セキュリティ強化のための館内 WiFi 環境の再構築。
- ④ 展示の魅力度アップにかかる事業（和食展足利将軍献立再現、未来へのおくりもの展図録等）
- ⑤ 映像関係の展示等企画強化

(6) 地域連携文化事業（公益充実資金）

地域と連携しながら、文化活動の発信力の強化や新たな機能の創造と魅力向上を図る取組みとして、他の博物館や経済界と連携し、所蔵資料（絵巻）の展示開催を通じての活用検討や令和 8 年度開催予定の寛永展に係るコンテンツ開発に取り組んだ。事業の原資となる「地域連携文化事業資金」は、文化庁 Innovate MUSEUM 事業補助金より事業費の 2/3 の補助を受けたため、1/3 を事業費として充てた。（詳細は 15 ページ（9） - ④を参照）

(7) 学習普及活動

①チャレンジ体験事業

京都市内中学生を対象として実施している職場体験事業。

今年度は、6 月 3～6 日御池中学校（2 名）、11 月 5～7 日七条中学校（3 名）、1 月 14～16 日東山泉小中学校（2 名）、1 月 27～30 日高野中学校（2 名）の 4 回にわたり計 9 名を受け入れた。

②博物館実習の受け入れ

立命館大学ほか計 10 大学の学生 10 人を対象に、8 月 25～29 日の日程で実習を実施した。

(8) 調査研究活動

歴史、考古、民俗、美術工芸、映像の各分野で調査研究を行い、研究紀要『朱雀』第 37 集を刊行するとともに、総合展示、特別展示の実施と展覧会の充実に努めた。

〔京都文化博物館研究紀要『朱雀』第 37 集〕

○論考

- ・将軍足利義晴の祇園祭見物に際し提供された料理の研究

橋本章・小川航典・東祥太郎

○研究ノート

- ・画家・井澤元一と京都
 - 『作品ノート』からたどる「京都の洋画」の一側面② 清水智世
- ・近畿地方における朝鮮半島系土器研究の現状と課題
 - ～主に無文土器（粘土帯土器）を対象として～ 山崎頼人
- ・鶴澤探山の修業期について
 - 鶴澤探山「諸画卷」と「雑画卷」を中心に 千種佳奈
- ・京都文化次世代データセンター（仮称）事業における近赤外線透過光撮影
 - 古代学協会本『大内裏図考証』表紙裏反古の『集古十種』- 佐藤稔介

○資料紹介

- ・資料紹介「草花文様小袖」 林智子
- ・新出「河原巻物」（個人蔵）の紹介と翻刻 西山剛

(9) 外部連携活動

① 京都市内4館連携協力協議会の活動（京都ミュージアムズ・フォー）

今年度は合同部会を1回、学芸部会を1回、全体会を1回開催し、以下の連携事業を実施した。

- ・連携講座の実施（6月14日）
- ・4館の合同年間スケジュールの作成
- ・各館友の会会員相互割引制度の実施
- ・4館相互割引及びスタンプラリーの実施。

② 「京都アート・クラフトマーケット」の開催

今年度は、ゆとりを持たせるためブース数を減らしたが、入場者数については外国人観光客の増加もあり、前年度を上回った。

開催日	出展数	入場者数
10/11日～13日	75ブース (84ブース)	27,048人 (22,847人)

() 内は昨年度実績

③ 「京都文化次世代データセンター（仮称）」の公開実践と検証のためのプロジェクト（「文化庁 Innovate MUSEUM 事業（地域課題対応支援事業）」）

本事業は、京都文化博物館が中核館を担う京都歴史文化施設クラスター実行委員会の事業として文化庁補助金を得て実施した（補助金実績額は1,793千円）。本事業の構成団体である京都府、京の三条まちづくり協議会、姉小路界限を考える会、京都市歴史資料館、京都市考古資料館、京都市生涯学習総合センター、京都市学校歴史博物館、千總文化研究所、古文化保存協会と協働し、デジタルアーカイブ化の実践にかかる技術や制度や行動指針等についての研鑽を積み重ね人材育成を図り、資料のデジタル化を研究しデータストックを充実させ、デジタル化した博物館資料を用いて地域課題解決への方途を探る実践をおこなった。そして今年度は以下の事業に取り組んだ。

ア 人材育成事業

資料のデジタル化の専門家を招いての講習会及び研修会を実施し、講習会には13名の参加があった。

イ データストック事業

専門家の指導を受けつつ、近代歴史・染織資料の多彩な分野から高精細画像撮影機器を用いた資料のデジタル化の実践を行い657件の資料整理、約1200カットの高精細撮影を実施した。

ウ データオープン化事業

デジタル資料を活用した展示会（京都市考古資料館）とシンポジウム（立命館大学）、そしてXRミートアップ京都（京都文化博物館別館）を開催した。展示会の見学者3,072名、シンポジウムの参加者103名、XRミートアップ京都の参加者126名である。特に、XRミートアップ京都を開催することで、文化財のデジタル化・データオープン化に関する課題や文化資源活用の重要性、地域課題について共有し、さらなる課題解決につながる素地を形成することができた。

③ 博物館と経済界との協働推進、ネットワーク強化による新領域の実証事業（BIZ+MUSEUM

KANSAI 事業／令和7年度文化庁 Innovate MUSEUM 事業）

本事業は、BIZ+MUSEUM KANSAI 事業実行委員会（構成団体：当館、京都市京セラ美術館（中核館）、公益社団法人 関西経済連合会、関西電力株式会社、滋賀県立美術館、神戸市立博物館、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社 JTB）の事業として文化庁補助金を得て実施した（当館補助金実績額 2,461 千円）。当館では下記の事業に取り組んだ。

（ア） ビジネスパーソンを対象とする展覧会に関する検討会

寛永行幸 400 年祭開催記念「寛永」展の開催に向けて、ビジネスサイドの知見を取り入れた取り組みを行うため検討会を開催。ビジネスサイドからの意見を踏まえ、二条城を対象とした 3D 点群データを取得し、没入感を演出する体験型展示を行うこと等について検討を行った。

（イ） 収蔵資料の活用方法検討ワークショップ

『鳴門中将物語絵巻』を中心に、当館管理資料 23 点によって構成した絵巻物を中心としたビジネスマン向け展示（開催期間：2025 年 7 月 25 日～8 月 10 日／15 日間）を開催し、意見交換を行なった。

（10）友の会事業

会員数は、令和 7 年度末現在、615 人（A 会員 294 人、グループ会員 109 人、B 会員 212 人）である。

（参考：令和 6 年度末、673 人（A 会員 317 人、グループ会員 120 人、B 会員 236 人）

会員への博物館情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を毎月 1 回発行した。

博物館主催事業に会員向け優先参加枠を設定し、実施した。

① 特別展「世界遺産 縄文」関連イベント

講演会「どっグ～な、土偶の見どころお伝えします」

10 月 4 日（参加者：9 名）

講演会「世界遺産 縄文を考える ―その光と影―」

11 月 1 日（参加者：4 名）

② 友の会会員向けに別館のミニガイドツアーを実施した。

11 月 5 日（参加者：18 名）

（11）博物館ボランティア事業

より開かれた博物館を目指し、博物館と来館者をつなぐ役割を自主的に担うことを目的として活動している。令和 7 年度は 65 名（日本語 39 名、英語 20 名、その他言語 6 名）が在籍し、2 階総合展示室「京の歴史ゾーン」にて、来館者への案内、解説、誘導、監視等の活動を行った。

活動にあたっては、研修等を充実させることにより、スタッフの資質とやりがいの向上に努めた。

○令和 7 年度の活動実績

- ・総合展示担当学芸員による、ボランティア研修 5 回
- ・第 14 期ボランティアの委嘱式（令和 7 年 6 月 1 日）

＜収益目的事業＞

（１）貸展示室事業

- ・コロナ禍や継続的に利用いただいていた利用者の高齢化等により、利用率低下や利用規模の縮小傾向が続いており、昨年度と比較して来館者数は約４万人減少した。
- ・令和７年４月１日から貸展示室利用料金を約１４％値上げし、使用案内を改訂した。利用承認は、半年前に確定するため実質的な値上げは１０月以降の利用が対象となり、収益への効果は８年度以降となる。
- ・特に優れた文化事業に対し、「特別協力」及び「後援」のかたちで応援した。

特別協力：ＫＹＯＴＯグラフィー、「第２６回能装束・能面展」（片山家能楽・京舞保存財団）

後 援：第５１回京都春季創画会展、第３６回工芸美術創工会展、第２５回福知山佐藤太清賞
公募美術展

（２）貸店舗事業（ろうじ店舗）

- ・ろうじ店舗は引き続き西北及び西南スペースが空き店舗となっており、１０店舗による営業となった。
- ・令和７年４月１日から博和会と博物館の共催事業として、西北空きスペースを利用して京都府内の土産品販売店舗を設置し、賑わい創出に努めた。
- ・にぎわい創出を目的として、博和会及びろうじ店舗入店者を対象に「西北スペース」や「東側通路」を提供した。博和会「書道ワークショップ」「和紙ネイルワークショップ」「京都大学折り紙サークル」等多数のイベントを実施した。
- ・特別展「和食展」「青の祓魔師展」「縄文展」について、ろうじ店舗（「しげちゃん」「とにまる」「前田珈琲」）と連携し、コラボメニューを開発・提供した。

Ⅲ 京都府立文化芸術会館・京都府立府民ホール

1 管理運営業務

「文化芸術会館」及び「府民ホール」については、指定管理者「創」として締結した京都府との協定に基づき管理運営を行った。令和7年度は、これまでの指定管理者としての経験を生かし、両館の人的資源の有効活用や、株式会社コングレの持つ民間事業者の弾力的・機動的な運営能力を活かし、財団の目的に沿った京都文化の豊かな創造、発展に寄与した。

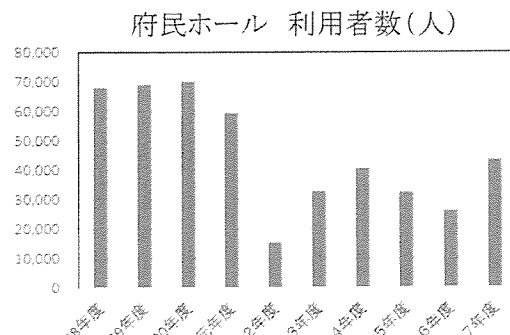
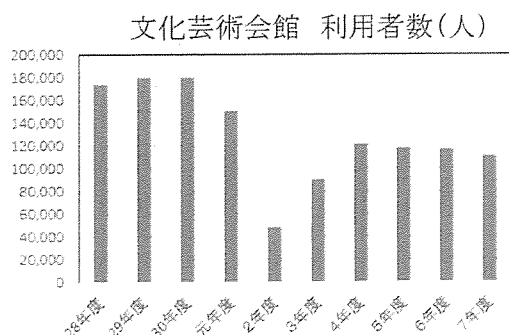
文化芸術会館（指定管理期間：令和5年4月から令和10年3月までの5年間の3年目）は、京都府により老朽化に伴う施設改修及び設備更新を順次実施した。利用者数は前年度と比較して微減、コロナ禍以前の70%程度にとどまっている。主催団体の高齢化等により構成員数及び来客数の減少傾向が厳しいが、新たな利用促進に努めホールや展示室の利用実績は前年度並みを維持している。

府民ホール（指定管理期間：令和7年4月から令和12年3月までの5年間の1年目）は、令和6年1～8月までで耐震工事等が終了し、さらに良くなった音響をPRしつつ運営に取り組んだ。通年で運営できたことから、昨年度と比べて利用者数で約1.7倍（17,246人増）、公演回数も約1.5倍（54公演増）増加したが、文化芸術会館と同様、入館者数はコロナ前の水準には戻っていない。

施設利用状況総括表

施設名	利用者数（人）	利用率	公演回数
文化芸術会館	110,244 (前年度 116,153) *10,157,207	ホール 72.5% (65.0%) 展示室 83.2% (76.7%)	141 (144)
府民ホール	43,229 (前年度 25,983) *2,232,533	ホール 69.3% (88.4%)	157 (103)
計	153,473 (前年度 142,136) *12,389,740		

() は前年度 * は開館からの累計



(1) 施設利用状況

① 京都府立文化芸術会館

施設別の利用状況については、

- ・令和7年度のホール利用状況は次のとおりであり、利用日数187日（6年度は185日）であった。
- ・展示室は、1階 259日、2階 215日、3階 22日の利用日数であった。
- ・年間会館入場者数は110,224人であった。前年度と比較して、すべての区分で入場者数が減少（▲5,909人）した。会議室の定例利用（教室等）が件数、人数とも減少している。ホールや展示室は新たな利用促進の結果、前年度並みの実績（日数・件数）を得られた。
- ・なお、利用率の上昇は、修繕工事等による利用不可能日が増えたこと等によるもの。

利用状況の詳細は、以下のとおりである。

（令和7年4月～令和8年3月）

（単位：日・回・件・人）

区 分	ホー ル	展 示 室				会 議 室	合 計
		1 階	2 階	3 階	計		
利用日数 (和室公演)	187 (会議室に分類)	259	215	22	496	—	—
公演回数/件数	141	43	38	6	87	559	787
入場者数	49,534	20,220	15,822	1,399	37,441	23,269	110,244

— 参 考 —

（令和6年度入場者数）

（単位：人）

区 分	ホー ル	展 示 室				会 議 室	合 計
		1 階	2 階	3 階	計		
利用日数 (和室公演)	185 (会議室に分類)	260	215	28	503	—	—
公演回数/件数	144	41	37	8	86	648	878
入場者数	50,813	22,091	16,092	1,761	39,944	25,396	116,153

② 京都府立府民ホール

- ・令和7年度のホール利用状況は次のとおりであり、利用率は69.3%（6年度は88.4%）であった。
- ・年間入場者数は、43,229人であった。

利用状況の詳細は、以下のとおりである。

（令和7年4月～令和8年3月）

利用日数	196
公演回数/件数	157
入場者数	43,229

— 参 考 —

（令和6年度入場者数）

利用日数	137
公演回数/件数	103
入場者数	25,983

※令和6年度は改修のためホールは9月から3月までの7カ月間

(2) 利用料金収入状況

① 京都府立文化芸術会館

施 設 別	令和7年度	(参考) 令和6年度
ホール使用料	9,345,600 円	8,987,200 円
展示室使用料	6,991,800 円	7,180,700 円
会議室使用料	3,558,800 円	4,039,200 円
録音室使用料	266,400 円	303,800 円
付属設備使用料	12,632,841 円	10,722,120 円
駐車場使用料	15,742,200 円	15,625,150 円
計	48,537,641 円	46,858,170 円

② 京都府立府民ホール

施 設 別	令和7年度	(参考) 令和6年度
ホール使用料	15,533,190 円	10,247,450 円
付属設備使用料	10,188,850 円	6,065,190 円
計	25,722,040 円	16,312,640 円

2 事業実施状況

文化芸術会館

<公益目的事業>

(1) 自主(主催)事業

良質な舞台芸術の提供、新たな文化の創造、次世代のアーティストの発掘育成、府民との協働、「古典の日」の推進をコンセプトに、京都府からの委託事業に取り組むとともに、伝統芸能などの自主事業を企画・開催した。

① 京都府からの委託事業

<京都ゆかりの次世代アーティスト育成プログラム>

催 し 物 名				開催日 (公演数)	会場	入 場 者 数
古典 芸 能	狂言五笑会 4回	第55回	小舞「岩飛」「海道下り」「幼けしたるもの」 狂言「末広がり」「文蔵」「梟」 出演：島田洋海、増田浩紀、井口竜也、 鈴木実、山下守之	令和7年 5月9日 (1)	和室	70
		第56回	小舞：「府中」「鵜飼」「鐘の音」 狂言：「伊文字」「鬼の継子」「狐塚」 出演：島田洋海、増田浩紀、井口竜也、 鈴木実、山下守之	7月26日 (1)		70
		第57回	小舞：「御田」「海道下り」「細雪」「祐善」 狂言：「胸突」「貰賀」 出演：島田洋海、増田浩紀、井口竜也、 鈴木実、山下守之	12月19日 (1)		70
		特別公演	狂言：「禰宜山伏」「樋の酒」「釣針」 出演：五笑会メンバーほか茂山千五郎、茂山 竜正、茂山 茂、茂山千之丞、松本 薫、 茂山宗彦、茂山七五三、茂山あきら、 丸石やすし	令和8年 3月8日 (1)	ホール	250
	上方落語勉強会 4回	第278回	「兵庫船」桂 八十助／「代書」月亭 天使／ くまざわあかね新作 Vol. 53 お題の名づけ親 はあなたです その139 桂 吉の丞 「つる」桂 米二／「天災」笑福亭 喬若	令和7年 6月27日 (1)	和室	70
		第279回	「牛ほめ」桂 九寿玉／「狸の化寺」桂りょうば 小佐田定雄新作 Vol. 109 お題の名づけ親は あなたです その140・笑福亭鉄瓶 「四人ぐせ」桂 米二／「お文さん」桂 佐ん吉	9月 9日 (1)		70
		第280回	「みかん屋」林家 勘左／「茶目八」林家 愛染 くまざわあかね新作 Vol. 54 お題の名づけ親 はあなたです その141 笑福亭仁智 「寄合酒」桂 米二／「掛取り」林家 染左	12月23日 (1)		70
		第281回	「桃太郎」桂 音紫／「お血脈」月亭 秀都 小佐田定雄新作 Vol. 110 お題の名づけ親は あなたです その142・桂 米二 「搦屋幸兵衛」笑福亭由瓶／「鹿政談」桂米輝	令和8年 3月17日 (1)		70

＜府民との協働・参画プログラム＞

催 し 物 名		開催日 (公演数)	会場	入場者数
演劇	第47回Kyoto演劇フェスティバル 公募公演プログラム（和室） ・ひとり人形劇まる&よっちゃんの紙芝居「舌切りすずめ」ほか ・創造集団アノニム「愛と別れの円舞曲」 ・京都放送劇団「大坂落城哀話」 ・ごちゃまぜMINIシアターズ「ごちゃまぜMINIシアター」 ・Ktek & 鹿ヶ谷合唱団 ミュージカル「勸進帳」 ・人形劇ユニットぷくぷく「やんすけとやんすけとやんすけと」 ・みかんの本文庫「たぬきがいっぱいのお話会」	令和8年 2月11日 ～3月1日 (公募7) (特別2)	和 室 ホール	1,015
	特別企画（ホール） ・創作音楽劇「緑の服のクマ男」 原作／グリム 脚本・演出／中田達幸 作曲／西邑由記子 振付／絵里奈 歌唱指導／大谷圭介、張 彩夏 出演／（公募により募った10歳～74歳までの府民） 林 陽香、熊野千明希、大八木彩衣、三浦 環 平岡花菜、高橋理音、高山千香葉、張 彩夏 入江真妃、河添奈桜子、河合厚志、井口峰華 仲村万紀子、矢野永吏子、山下多恵子、武分真紀 浜崎由紀、中田達幸、くぬぎ森子、松尾えり子 堤 かおり、安田 晋、長田美穂子 演奏／宮本 妥子（パーカッション）、西邑由記子（ピアノ）			

② 自主事業

＜優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供＞

催 し 物 名		開催日 (公演数)	会場	入場者数
演劇	北部演劇活性化プログラム 第28回 きょうと北部演劇まつり [合唱] ふくちやま児童合唱団&ふくちやま児童合唱団 mamas+ [人形劇] みかんの本文庫 「三つの願い」 [和太鼓と篠笛 & ジャグリング] 刻ノ音 & 酒田しんご ※主催 きょうと北部演劇まつり実行委員会 共催 京都府立文化芸術会館	9月21日 (1)	福知山市	250
	イッセー尾形の右往沙翁劇場 番外編「銀河鉄道に乗って」 都会ガール／賢治をバスガイド／ネアンデルタール／移住／ほか	10月25日 ～27日 (3)	ホール	1,010
古典 芸能	桂ひろば、桂そうば、桂ちょうば 三人同時襲名 披露公演 桂 力造（桂ひろば改め）、桂米之助（桂そうば改め）、 桂惣兵衛（桂ちょうば改め）、桂 南光、笑福亭鶴瓶、桂 塩鯛ほか	10月19日 (1)	ホール	445
	嘶家生活 50 周年記念 桂 文之助独演会 桂 文之助、桂 南光、桂 南天、桂 天吾	10月19日 (1)	ホール	225
	「新春 米朝一門花形落語会」 桂二豆、桂慶修朗、桂歌之助、桂吉弥、桂米紫、桂南天	令和8年 1月5日 (1)	ホール	250
	文楽京都公演 「義経千本桜」道行初音旅 「新版歌祭文」野崎村の段 「曾根崎心中」生玉社前の段 天満屋の段 天神森の段	3月20日 21日 (4)	ホール	1,480
	京都三曲協会 邦楽（箏・三絃・尺八）を楽しむ会	6月・9月・ 12月・3月 (各1)	和 室	280 (4回)

文化芸術会館 受託・自主事業合計数

	公演数	入場者数
受託・自主事業 合計	32	5,695
前年同期計	37	7,410
増減差	▲5	▲1,715

(2) 会館の運営事業

会館の備えるホール、和室、展示室及び会議室の各施設・設備を、自主（主催）事業と同様に、若手アーティスト等の育成、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する事業、府民参加型による文化芸術の振興に資する事業、京都発の新しい舞台芸術の創造に資する事業等の実施と交流のために使用する利用者に貸与した。

(3) 友の会事業

友の会会員に対し、昨年と同様に、自主事業の定期的な公演情報の提供、公演チケットの先行発売、割引販売等の特典サービスを提供した結果、会員数は昨年より少し増加した。

会員数 令和7年度末 322人
 (令和6年度末 302人)

<収益事業>

(1) 公益目的外貸与事業

① ホール、和室及び展示室の使用のうち、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供等の公益目的以外の興行性の高い利用者の使用に貸与した。

② 会議室使用のうち、民間事業者等の学術的利用のための使用に貸与した。

参考 公益目的外貸与事業による入場者数等

	貸与日数	公演等数	入場者数
ホール	24	27	10,090
会議室	61	53	1,820

(2) 駐車場事業

来館者等の利便のため附属駐車場を運営した。

2 事業実施状況

府民ホール

<公益目的事業>

(1) 自主（主催）事業

京都府からの委託事業及び自主事業を、高い芸術性と趣向を凝らしたおもてなしを提供する「ALTI 未来時間」のコンセプトのもと、新しい舞台芸術の発信・創造、若手アーティスト等の育成、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する音楽、舞踊等の公演として企画・実施した。

①京都府受託事業

<極上の音響を活かした一流アーティストによる公演>

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	～3人のトップアーティストによる～ 春のプレシャスコンサート	令和7年 4月26日	ホール	290
	京都アルティ弦楽四重奏団	令和7年 9月27日	同 上	317
	チェロアンサンブルの愉しみ	令和8年 3月8日	同 上	394

<次世代の育成プログラム>

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	～ALTI若手演奏家シリーズ～ 魅惑のトリオ	令和7年 6月7日	ホール	326
	石上真由子「京都府文化賞」受賞記念リサイタル	令和7年 8月11日	ホール	377
	～目指せ！未来の音楽家～ バロック・ヴァイオリン演奏会	令和8年 3月14日	ホール	335

②自主事業

<極上の音響を活かした一流アーティストによる公演>

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	バッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会	令和7年 11月8日 15日	ホール	524

<新しい舞台芸術の創造・発信プログラム>

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽 パフォ ーマン ス	ALTIサマーフェスタ ～夢のサーカスへの大冒険～	令和 7 年 8 月 2 日	ホール	429

<府民との共同創造プログラム>

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	京都アルティ声楽アンサンブルフェスティバル	令和 7 年 7 月 19 日 20 日	ホール	440

	入場者数
受託・自主事業 合計	3, 4 3 2
前 年	2, 9 0 8
増 減	+ 5 2 4

(2) ホールの運営事業

ホールの施設・設備を、自主（主催）事業と同様に、若手アーティスト等の育成、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する事業、府民参加型による文化芸術の振興に資する事業、京都発の新しい舞台芸術の創造に資する事業等のために使用する利用者に貸与した。

(3) 友の会事業

友の会（アルティ・メイト）会員に対し、定期的な公演情報の提供、公演チケットの先行発売、割引販売等の特典サービスを提供しホール利用を促進した。令和 6 年 1 月からの休館のため会員数が減少したが、会員の有効期限を休館期間分延長するなど特典の充実と窓口での入会案内の強化により会員の拡大に努めた。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
会員数	4 1 9	4 4 8	3 6 8	4 2 5	4 0 2

<収益事業>

(1) 京都府公館の管理事業

府民ホールとの合築になっている京都府公館を、府との委託契約に基づき管理した。

(2) 公益目的外貸与事業

ホールの使用のうち未利用日等について、優れた文化芸術活動の場の提供等の公益目的事業以外の興行性の高い利用者や京都府主催行事の使用に貸与した。

参考 公益目的外貸与事業による入場者数等

貸与日数	公演数	入場者数
1 5	1 0	4, 1 8 5

3 美術工芸振興基金事業

(1) 京都府出えん金

昭和63年度	79, 000, 000 円
--------	----------------

(2) 基金運用事業

基金の果実を財源として、美術・工芸界でユニークな創造活動を行う作家を対象とした『企画展』を開催してきたが、利息の減収等により事業資金が不十分な現状となっている。そういった中で、令和7年度においては、令和8年度以降に向け果実を積み上げた。

Ⅳ 京都府立堂本印象美術館

1 管理運営業務

総入館者数は野外展、庭園利用を含めて 30,858 人となった。展覧会入場者数についてはコロナ禍以降の数値を更新した。

展覧会事業では、特別企画展として愛知の名都美術館と作品を交換して「伊東深水展」を開催したほか、京都工芸美術作家協会、京都彫刻家協会、京都いけばな協会など、地域の芸術家団体と連携して展覧会を実施した。

また美術館本館および山のアトリエの国の登録有形文化財への登録にあわせて山のアトリエの一般公開に向けたクラウドファンディングの実施、所蔵作品のデジタルアーカイブ事業など幅広い事業に取り組んだ。

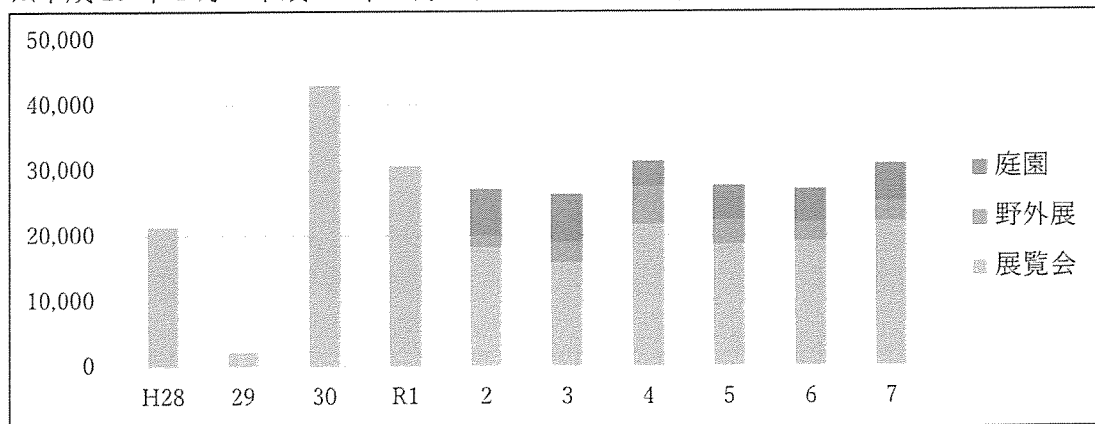
令和 7 年度入館者数 (人)

	展覧会入場者	野外展入場者	庭園利用者	総入館者数
入館者数	22,064	3,121	5,673	30,858

過去 10 年間の入館者数実績 (人)

	展覧会入場者	野外展入場者	庭園利用者	総入館者数
平成 28 年度	21,341	-	-	21,341
平成 29 年度	2,228	-	-	2,228
平成 30 年度	43,082	-	-	43,082
令和元年度	30,697	-	-	30,697
令和 2 年度	18,216	1,753	7,126	27,095
令和 3 年度	15,857	3,090	7,347	26,294
令和 4 年度	21,691	5,765	3,854	31,310
令和 5 年度	18,618	3,674	5,278	27,570
令和 6 年度	19,059	2,964	5,009	27,032
令和 7 年度	22,064	3,121	5,673	30,858

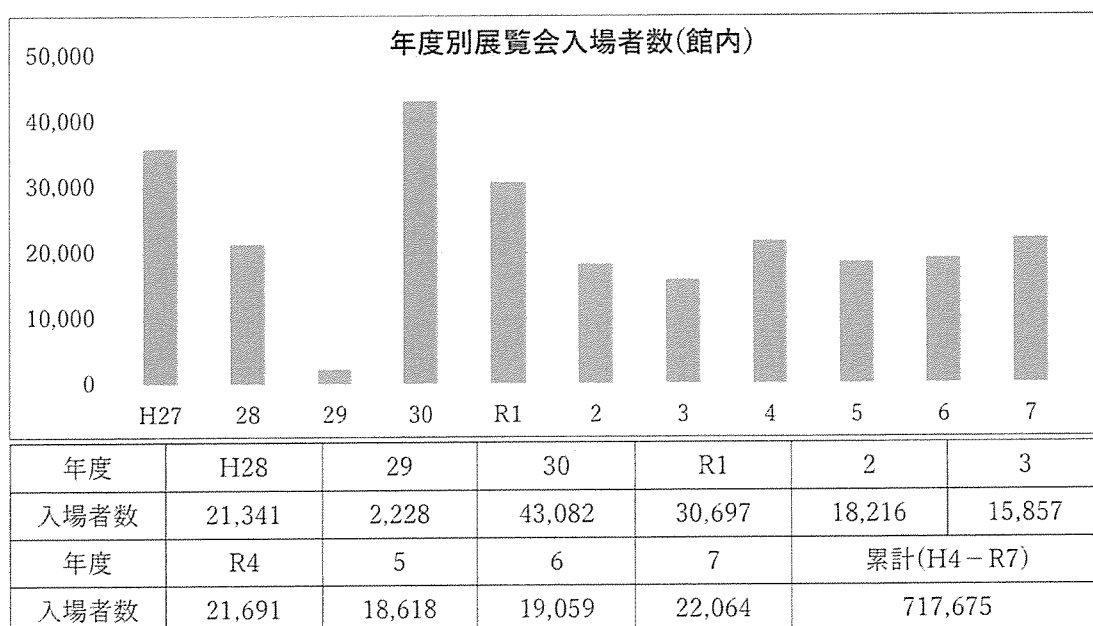
※平成 29 年 1 月～平成 30 年 3 月：リニューアル工事のため休館



2 事業実施状況＜公益目的事業＞

(1) 展覧会事業

展覧会名	主催者・出展者	開催期間	入場者数	一日平均
特別企画展 伊東深水 時代の美、つややかに 新館＜没後50年記念＞ 堂本印象の描く女性	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	4月15日(火)～ 6月1日(日) 42日間	5,646人	134人
企画展・野外展 第8回野外彫刻展	京都府 京都彫刻家協会 堂本印象美術館		(2,291人)	55人
＜没後50年記念＞ 企画展 堂本印象と大阪	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	6月12日(木)～ 9月23日(火・祝) 89日間	4,446人	78人
企画展 第6回京都工芸美術作家展	京都府 堂本印象美術館 京都工芸美術作家協会			
＜没後50年記念＞ 企画展 TheGreatDOMOTO －堂本印象の家族たち－	京都府 堂本印象美術館	10月9日(水)～ 12月21日(日) 63日間	5,902人	94人
企画展・野外展 第7回野外いけばな展 The Great Flowers	京都府 京都新世代いけばな展 運営・実行委員会 堂本印象美術館	10月31日(金)～ 11月3日(月・祝) 4日間	(830人)	208人
＜没後50年記念＞ 特別企画展 モダンなときめき －智積院襖絵の魅力－	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	1月20日(火)～ 3月22日(日) 54日間	6,070人	112人
実開館日数 248日		合計 ※()は野外展含む	22,064人 (25,185人)	89人 (102人)



(2) 学習普及事業

事業名	実施日 実施期間	概要	延べ 参加者数
ギャラリートーク 出張ギャラリートークほか	5月3日,5月10日 5月17日,5月24日 6月28日,7月5日 7月12日,8月2日 10月25日,11月29日 2月7日,2月21日 3月7日	当館学芸員や出品作家、所蔵者、有識者による作品解説を実施。	325人
記念座談会 「伊東深水の魅力を深堀り！」	4月29日	深水の描く女性表現の特徴や魅力、衣裳について、各分野の専門家3名を招き講演会形式の解説を実施。	84人
立命館大学連携授業 現代社会とボランティア	5月18日～ 8月2日	美術館の監視案内、備品整備などのボランティア活動を企画し、学生を受け入れ。	45人
衣笠アートヴィレッジ フェスティバル	6月1日	立命館大学と共同でデザイン、アートに関するイベントを開催。	500人
ミューズレール	7月6日	京都府立田辺高等学校と共同で子ども向けミニ列車を運行。	176人
衣笠幼稚園夏祭り	7月19日	衣笠幼稚園と共同で美術館を舞台にした夏祭りを開催。	500人
夏休み親子向けワークショップ 「染色体験～日本手ぬぐいを染めよう～」	7月26日	親子向けに京都工芸美術作家協会と連携して現役の工芸作家によるワークショップを開催。	13人
京都市立蜂ヶ岡中学校 協力授業 職場チャレンジ体験	9月2日～ 9月5日	美術館業務の体験学習に協力し、受付、監視、広報、来館者対応などの学びの機会を提供。	16人
立命館大学授業協力 シチズンシップ・スタディーズ	10月1日～ 1月11日	学生と共同で美術館を活用したイベントの立案から実施までを実施し活動報告会で発表。	105人
立命館中学校授業協力 職場チャレンジ体験	11月6日～ 11月8日	美術館業務の体験学習に協力し、受付、監視、広報、来館者対応などの学びの機会を提供。	12人
シンポジウム 「堂本印象『いの字絵本 恋の都大阪の巻』とは何か」	2月1日	堂本印象が画家デビューを飾った『いの字絵本』について5名の有識者によるシンポジウムを開催。	142人

ぬいぐるみお泊り会 ワークショップ	3月1日,8日	子どもたちからぬいぐるみを預かり美術館でお泊り会を開催。 その様子の写真をフォトブックにするワークショップも実施。	85人
京福電鉄協力企画 嵐電北野線開通100周年コラボ	3月10日～ 3月22日	近隣と京福電鉄、京都先端科学大学附属高校と連携して高校生の作品展示等を実施。	481人
合計			2,484人

(3) 地域連携・文化観光推進事業

事業名	実施日・実施期間	概要	延べ 参加者数
京都モダン建築祭	11月1日～ 11月9日	京都市内に点在する歴史的建築物の一斉公開に参加し、建築の面から芸術体験の機会を提供。	660人
関西広域連合連携企画 関西文化の日	11月15,16日	関西の美術館、博物館と連携し入館料無料等のプロモーションを行い、各施設館の広報、来館促進に協力。	606人
京都市内博物館施設 連絡協議会連携企画 第29回京都ミュージアムロード	1月21日～ 3月15日	京都市および京都市内の美術館、博物館と連携してスタンプラリー等を行い、各施設館の広報、来館促進に協力。	4,889人
京都歴史回廊協議会連携企画 妙心寺探訪～禅宗本山の庫裏・浴室の利用と建物の改築～	2月15日	地元団体と協同で仁和寺の探訪と文化財保護の有識者による解説会を開催。	20人
合計			6,175人

・所蔵作品デジタルアーカイブ事業

京都府と連携して所蔵作品のデジタルアーカイブに取り組み、専門業者による研修や他館の事例研究などを行いながら100点以上の作品のデジタル化を行った。

・山のアトリエ公開に向けたクラウドファンディング

山のアトリエが国登録有形文化財になったことを踏まえ、一般公開に向けて修繕のためのクラウドファンディングを日本博物館協会等と連携して実施している。(3月13日～5月31日)

・きぬかけの路推進協議会、京都歴史回廊協議会との連携

妙心寺の建物探訪などを共同で開催し、地域の文化観光の振興に協力した。

・今出川通・日本画茶の湯美術館連絡会との連携

『京都・今出川通の美術館だより』(季刊誌)を年4回共同発行した。

（４）友の会事業

平成 25 年 3 月に募集を開始し、現在の会員数は個人 37、団体 1。会員から会費にて美術館の活動を支援頂きながら、展覧会の無料入館サービス、社寺見学会の開催などを実施した。

（５）美術館ボランティア事業

平成 30 年のリニューアルオープンに合わせて再結成した美術館ボランティアは、来館者への説明や各自主事業などのスタッフとしての参加等、美術館運営に得難い力となっている。現在 32 名在籍。

（６）調査・研究事業

堂本印象の作品及び関連資料の調査、研究に基づき企画展として展覧会を企画・実施し、シンポジウムの開催や書籍の発行を行った。さらに京都ゆかりの日本画家を顕彰する特別企画展を企画・実施して、京都における日本画壇の現状を広く公開した。